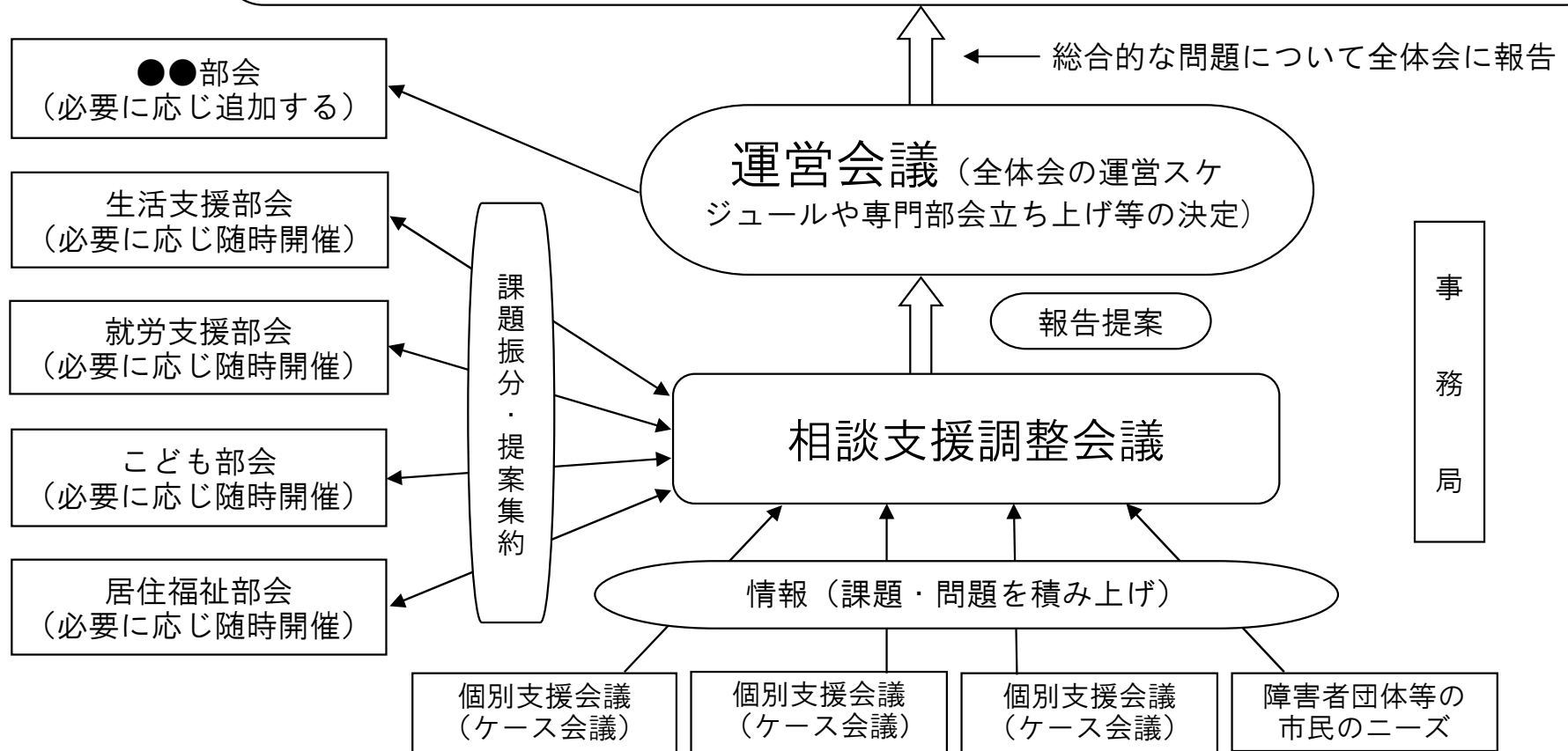


宇和島市地域自立支援協議会のイメージ

宇和島市地域自立支援協議会（全体会）

（問題意識の共有化、情報の共有化・部会からの様々な問題の協議検討・情報発信・協議会学習の場、施策の提言）



平成30年度 活動報告

会議名		主な内容	
全体会		開催数：1回（H31年3月18日） ●平成30年度活動（各部会）報告について ●平成30年7月豪雨災害時における障がい者支援について ●障がい者虐待防止対策支援事業の実施報告 ●宇和島市リレーファイル「つなぐ」について ●平成31年度活動方針（案）について	
相談運営支援調整及び協議		運営会議及び相談支援調整会議	相談支援調整会議
		開催回数：9回 ●計画相談支援の現状について ●相談支援専門員の現状について ●障害福祉サービス利用における課題等 ●7月豪雨災害における障害者支援について ●各部会活動の報告	開催回数：3回 ●事例検討
専門部会	生活支援部会	●7月豪雨災害を受け、今年度の重点課題として災害に特化した取り組みを実施（障がい者の防災についての意識調査）	
	就労支援部会	●生活支援部会から就労に特化した部門を新設（就労支援部会の立ち上げ） ●就職後のサポートに向け、具体的な取り組みを開始	
	こども部会	●リレーファイルの作成及び配布（運用） ●地域における医療的ケア児等支援について協議 ●発達障がいについての啓蒙・啓発活動（発達支援講演会後援）	
	居住福祉部会	●新たな住まいづくりに向けた協議（地域生活拠点の整備に係る現状把握と問題点の抽出） ●グループホームの設置が進まない現状と利用者のニーズ把握	
研修等	障がい者虐待防止対策支援事業の活用	●障がい者虐待防止・権利擁護に関する研修会（平成31年2月27日開催） ・愛媛県社会福祉士会が運営する虐待対応専門職チームによる講話 ・相談支援専門員ほか、福祉関係従事者等が参加	

生活支援部会 活動報告

年度	30年度	
活動方針	<p>〈生活支援全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 権利擁護、虐待防止に向けた啓発の推進 ・ 相談支援専門員や調査員の訪問、面接等において当事者からの声を聞き、課題を探る。 ・ 情報提供、関係機関等との協力体制の整備 	<p>〈災害対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、当事者の心配事を聞き、避難場所の確認や自主的な防災体制づくりを支援 ・ 自助の啓発
取組み	<p>●平成30年7月豪雨災害を受け、防災について障がい者の意識調査を実施。今年度については、これを重点課題とし、特化した形で取り組む。</p> <p>〈実施目的〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①当事者の声を拾い上げ、ニーズ把握や不安・心配事を知る。 ②聞き取り調査で得た情報を公的機関に活用してもらう。関係機関とのネットワークを構築し、宇和島市の障がい福祉施策や防災対策等に役立てもらう。 ③当事者へ防災に対する意識づけの機会としても活用する。 	
成果	<ol style="list-style-type: none"> ①調査により問題・課題が抽出できた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要援護者登録が少なく、福祉避難所の認知度が低い。 ・ 障がい特性に合わせた対応が必要であること ・ 共助関係の調整作りが必要であること ・ 早めの情報発信するための手段・方法はないか 等 ※宇和島市の防災の取り組みについて知らない人が多かった。 ②災害が生活の中で身近なものであると実感し、真剣に聞き取りに協力してくれる方が多かった。聞き取り調査を通して、防災に対する意識づけの機会となった。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取り調査の継続 ・ 当事者同士の話しあいの場の確保 ・ 防災に携わる関係機関との連携 ・ 宇和島市の防災の取り組みの周知、拡大 	

就労支援部会 活動報告

年度	30年度	
活動方針	①生活支援部会から就労に特化した部門を新設「就労支援部会の立ち上げ」	②就職後のサポートに向け、具体的な取り組みを開始
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●部会委員 構成人員7名(事務局を除く) ・教育関係1名：宇和特別支援学校進路課 ・就労関係3名：ハローワーク宇和島、就労移行支援事業所 八つ鹿工房、障がい者就業・生活支援センターきら ・相談支援事業所3名：八つ鹿工房、はーと、豊正園 <ul style="list-style-type: none"> ●3ヵ月に1回、定例会を開催 近況報告や就労に関する情報交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●宇和島市特別支援連携協議会の地区協議会(城北地区)に参加 ⇒幼稚園・保育園・小中学校教諭へ、進路先や福祉サービスに関する情報提供を実施 ●南予地域就労支援ネットワーク連絡会主催の「合同説明会inなんよ」に参加 ⇒一般相談ブースにて、来場者からの質問や相談を受付 ●宇和特別支援学校の就労についての学習会に参加 ⇒保護者及び教諭からの質問や相談を受付
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援部会を新設することで、活動の方向性が絞られ、共通認識を持って行動することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援を必要とする機関や教育現場に出向き、専門的な立場から情報を発信することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行及び就労定着に向けた支援の展開 ・就労支援事業所との連携

こども部会 活動報告

年度	30年度
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ①リレーファイルの作成と運用に向けて取り組む（作成～配布へ） ②関係機関の連携強化（つながる支援体制の構築） ③地域における医療的ケア児等支援について（障がいの重い子どもの支援体制について） ④発達障がいについての啓蒙・啓発活動について
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●部会委員 構成人員12名（事務局を除く） <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達・放課後等デイサービス事業所2名：あけぼの園、なないろの羽 ・親の会1名：こころ根っと・ゆうきの会 ・保健分野1名：市保険健康課母子保健係 ・教育分野2名：市学校教育課、特別支援学級教諭 ・児童福祉2名：市福祉課児童福祉係、子育て支援コーディネーター ・相談支援事業所3名：豊正園、南愛媛療育センター ※医療的ケア児等の支援については、医療的ニーズの高いケースに対応している事業所へ出席を依頼：みなみ愛媛通園センター、ナースングデイゆらり、医師会通所看護さくらまち ●部会開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回(5/24) 「各機関紹介、リレーファイル（案）の周知・運用方法の検討」 第2回(6/29) 「リレーファイル様式（修正点）周知状況と今後の計画・運用について」 第3回(10/9) 「リレーファイルの運用及び周知状況と今後の計画について」 第4回(1/17) 「リレーファイルの運用」「地域における医療的ケア児等支援について」 ●1/28宇和島市特別支援連携協議会（リレーファイル説明/学校配布） ●2/1発行「広報うわじま」にリレーファイルについて周知記事掲載 ●2/23「発達支援講演会」～地域で育てる課題～ こころ根っと・ゆうきの会主催/宇和島市地域自立支援協議会後援
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から取り組んだリレーファイル「つなぐ」を作成、配布することができた。 →リレーファイル作成により、関係機関との協働作業ができ、連携が深まった。 ・こども部会で医療的ケア児等に対する取り組みを深める協議の場ができた。 ・昨年度に引き続き、発達障がい児親の会「こころ根っと・ゆうきの会」の発達支援講演会を通して、発達障がいについての啓蒙・啓発活動ができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーファイルの運用と活用状況についてのモニタリングの検討 （途切れることのない支援体制の構築） ・医療的ケア児の支援の在り方について継続的な協議の場の確保 ・発達障がいについての協議の場の確保（相談窓口、支援体制の強化、啓蒙・啓発活動）

居住福祉部会 活動報告

年度	30年度	
活動方針	<p>①新たな住まいづくりに向けた協議 (地域生活拠点等の整備の検討)</p>	<p>②グループホームの設置啓発に向けた現状と課題把握、設置促進に関する支援策の検討</p>
取組み	<p>●部会委員 構成人員8名(事務局を除く) ・住宅供給1名：市建築住宅課 ・生活保護1名：市生活支援課 ・精神保健1名：宇和島保健所健康増進課 ・精神医療2名：正光会宇和島病院 ・相談支援事業所3名：柿の木、はーと、あいか</p> <p>※テーマにより、宅地建物取引業協会宇和島支部や社会福祉協議会(地域福祉)等へ出席を依頼する。</p> <p>●部会開催 年1回(9/11) 現状の把握と問題点の抽出及び今後の活動について協議</p>	<p>●グループホームの設置が進まない現状及び利用者のニーズ把握</p>
成果	<p>〈問題点〉</p> <p>①市建築住宅課 愛媛県居住支援協議会へ参加し、住宅セーフティーネット法に基づく支援施策検討中。宇和島市では、まだ決まっていない。</p> <p>②何のサービスも利用できていない引き籠りのケースはどこに相談したら良いのか。(住環境の件で)分からないケースの相談窓口の広報が必要</p> <p>③家主・不動産業者は、支援があれば住宅の提供はしている。 現在、支援者のマンパワー不足</p> <p>④親亡き後の生活についての相談もあり。グループホームへの入居を希望される人が多い。</p>	<p>〈利用者のニーズ〉</p> <p>・左記④の情報</p>
課題	<p>・問題点の抽出と共有に止まり、問題解決の方策まで協議が出来ていない。</p>	<p>・将来的に必要となる根拠的な情報収集が行えなかった。</p>